

ふるさと御所 文化財探訪

御所市の 文化財概観

生涯学習課文化財係
☎内線696

御所市一帯は、天皇家の外戚として権勢を誇った葛城氏や、継体天皇の擁立に功績のあった巨勢氏の本貫地であったことから、とりわけ5〜7世紀の遺跡や史跡には目を見張るものがあります。葛城襲津彦の墓の有力な候補とされる墳長238mの室宮山古墳（国史跡）は5世紀前葉の古墳としては破格の規模を誇り、全国でも唯一、「王の柩」といわれる長持形石棺を竪穴式石室に安置されたままの状態で見ることができ古墳として著名で、全国からの見学者が絶えません。

また、巨勢氏の盟主の墓とみられる水尾南古墳の、蓮華文（ハスの花の文様）が刻まれた家形石棺は、その時代に新たに伝わり始めた仏教文化と、旧

来の古墳文化の融合を示す、最古の事例として広く知られています。最近の條ウル神古墳の調査では、巨大な石室と家形石棺が話題になりました。

巨勢氏の氏寺であった巨勢寺跡（国史跡）は、現在では精緻な細工が施された塔心礎とそれをのせる基壇しかみることができませんが、発掘調査によって東面する法隆寺式の伽藍配置であったことが判明しており、往事の壮大さを偲ばせるものとなっています。

このほか、古代から禅行修道の場となった金剛山や、その山腹に所在する初期の古代寺院、高宮廃寺が国の史跡に指定されています。

また、10世紀初頭に成立した「延喜式」に記載のある神社、つまり、格式



鴨都波遺跡第15次調査の様子

の高い式内社が多いことも特徴の一つです。高鴨神社や長柄神社の社殿は、もちろん当時のものではありませんが、特色ある建造物としてそれぞれ国や県の重要文化財に指定されています。



高鴨神社

国指定の寺院建築としては鎌倉時代建立の安楽寺の塔婆、民家としては江戸初期の中村邸があり、それぞれ当時の建築様式を現在に伝えるものとして貴重です。このほか葛城の地域には、創建が古く、格式の高い社寺が多いため、国や県の重要文化財に指定されている仏像や神像なども少なくありません。

6月号からは、背景となった歴史事象をできるだけ盛り込みながら、こうした市内の文化財を紹介していきたいと思えます。

編集後記

27年前にテレビ放映されていた松本零士原作のアニメ『1000年女王』全42話をDVDで観る機会を得た。同氏の作品としては、『ヤマト』や『999』ほど人気作ではないが、個人的には最も好きな作品である。着想の大胆さ、壮大なスケール感、スリリングで謎めいたストーリー展開、作中随所に盛り込まれた自己犠牲と人類愛のメッセージ……。そして何よりもヒロインにのしかかる切なく悲しい運命が観る者の胸を締め付ける。特に最終回はあまりにも悲痛で、当時中学生だった私は、その夜ふとんの中でいつまでも泣いていたのを覚えている。私にとって是不朽の名作である。…(欠)



2008.

5